



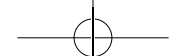
Captain Nigel's Mega Choice #136

HYDRO TEC 65M "VANGUARD"

英国海軍からチャーターヨットまで様々な船を渡り歩き、これまで30万海里以上にもなる航海経験をもつキャプテン・ナイジェル。
世界のトップセレブリティを相手にチャーターやコンサルティングを手がける彼が、
独自のネットワークでつながるメガヨットの世界を紹介する。壮大かつ華麗な、メガヨットワールドをご堪能あれ。

text: Captain Nigel Beatty photo: HYDRO TEC





創業25周年を迎えた「HYDRO TEC (ハイドロテック)」は、この重要な節目を記念して65mのエクスプローラーヨットを製作した。〈Vanguard (ヴァンガード)〉は、革新とデザインの境界を押し上げ、信頼できるテクノロジーを常に提供するHYDRO TECの精神を見事に表現している。

〈Vanguard〉という名前は、女王陛下の英国海軍に所属していた私にとって非常に興味深いものだ。この名前は、ロイヤルネイビーの伝統からインスピレーションを得ている。1580年以来、その艦隊には常に、〈Vanguard〉と呼ばれる軍艦が存在していたのだ。

〈Vanguard〉は大海原に浮かぶ城のようなヨットだ。高い舷によって安全性が確保されていると同時に、巨大な窓とテラスによって開放感あふれる素晴らしい景色を楽しむことができる。

この65mの排水型エクスプローラーヨットは、広いデッキを通常とは異なる方法で配置している。多くのヨットでは、ロアデッキの半分はエンジンルームで占められているが、〈Vanguard〉ではエンジンルームはロア

デッキの下に巧妙に配置されている。このレイアウトにより、船尾のビーチクラブから船首のクルーエリアまで、ロアデッキ全体を完全に使用することができるようになった。

ビーチクラブからは、素敵なスパへも簡単にアクセスできる。ビーチクラブの中央には大きな温水プールがあり、ビーチクラブは完全に屋根付きで、船尾と側面に向かって開くようになっている。サイドを開くと、デッキスペースが広がり、大きなサイドスイムプラットフォームになる。涼しい季節には、折りたたみ式のサイドを閉じて、屋内プールとして使用することも可能だ。ロアデッキの前方には、クルーキャビンとギャレーが配置されている。

メインデッキを船尾に向かうと、屋根付きのテンドーやシートイのためのエリアがあり、これらは簡単に海に浮かべることができる。つまり、テンドーポートをデッキから降ろした後は、このスペースをさまざまなアクティビティに利用することができるのだ。前方にはオープンラウンジとメインサロンがあり、ダイニングルームとエンターテイメントエリアが



ある。さらに船首に向かうと、左舷にギャレーとパントリー、右舷にオーナーズスイートへのアクセススペースがある。

オーナーズスイートには、広いオフィス、リラックスエリア、ドレッシングエリア、そして両舷に2つのテラスがある。アッパーデッキには、ブリッジ、キャプテンオフィス、キャプテンキャビンがある。このデッキの後方には、大きなパノラマスカイラウンジがあり、シネマエリアと屋外テラスが設けられている。また、このデッキの後方にはヘリポートが装備されている。2つのアッパーデッキには、さらに2つの大きなオープンラウンジがある。

〈Vanguard〉のプロパルジョンは、2基のMTU製メインエンジンと2枚の固定翼プロペラ。さらに2基の電気モーターを搭載し、電気ディー

ゼルモードでも最大約10ノットで走行することが可能だ。私はこの素晴らしいエンジニアリングエリアを歩き回るのが大好きだ。革新的でクリーンなエンジニアリングが施されたこのヨットは、実はもう私の願いをすべて理解しているのかもしれない。

最後に私は、トリックの種明かしをしなければならない。HYDRO TECはヨットビルダーではない。それはデザインスタジオであり、実は、〈Vanguard〉はまだ建造されていないのだ。このヨットは、将来誰かが作ってくれることを期待している、素晴らしく新しいヨットのデザインなのである。

HYDRO TECデザインスタジオは25年以上の歴史を持ち、Sergio CutoloとSilvia Himsoltの夫妻で構成されている。セルジオは以



前、BAGLIETTOのテクニカルディレクターを務めていた。彼がBAGLIETTOを去った後の25年間で、HYDRO TECは7メートルから80メートルまで、トータル2,000メートル以上の素晴らしいヨットを設計し、エンジニアリングの手助けをしてきた。

私は〈Vanguard〉が本物のヨットになることを心から願い、将来この船で日本をクルーズできることを願っている。 *P.B.*

HYDRO TEC 65m “Vanguard”

全長	65.2 m
全幅	13.7 m
喫水	3.5 m
構造	Steel Hull / Aluminium Superstructure
エンジン	2x MTU 16V 4000
ジェネレータ	4x Variable speed 232kw
トップスピード	18 kt
燃料	200,000 L
清水	40,000 L
ナールバークテクト	Hydro Tec
エクステリア	Hydro Tec
インテリア	Hydro Tec

Captain Nigel Beatty

Profile ナイジェル・ビーティ：1969年、英国ベッドフォード生まれ。高校卒業後、欧州放浪の旅にでる。その後、英国海軍に入隊。航海術や操船術などを学び、海軍ヘリコプターコントロール専門の統制官になる。5年後、バハマでスキューバダイビングのボートキャプテンとなるべく英国海軍を退役。1997年にヨット界に飛び込み、ヨットキャプテンになる。英国MCA3000トンのキャプテンライセンスを所持。これまでにメガヨットのキャプテンとして、米国東海岸、バハマ、タックス・アンド・ケイコス、カリブ海、日本、中南海、地中海、インド洋、ペルシヤ湾を航海し、航海経歴は30万海里以上におよぶ。2004年、スーパーヨットロジスティクス(SYI)を立ち上げ、ヨットセールス、チャーターコンサルティング、マリンパーツ販売を手がける。急速に拡大し、日本、フロリダ、オーストラリア、イギリスに拠点を置く。プロジェクトマネージャー、テクニカルマネージャー、リフィットマネージャーとして数多くの新艇プロジェクトも実施している。2008年、新人メガヨットキャプテンのインストラクターに就任。2009年には新キャプテン最終試験官に就任し、後輩キャプテンとなる生徒をビジネスと厳しく指導した。10年以上にわたり、日本だけでなく海外で、メガヨットのセールス、チャーター宣伝活動に注力している。2017年にはメガヨットセールス、チャーターを専門とするYACHTZOO TOKYOを立ち上げた。YACHTZOOはモナコをベースとしフロリダ、ロンドン、オークランドに拠点を持つ。目下、日本語誠意勉強中。日本語力はまともな焼酎を注文したり、間違えずに電車で乗れるくらい上達した。SUPER YACHT LOGISTICS JAPAN 050-55397667(日本語) USA +1-954-990-0094(日本語) e-mail: info@superyachtlogistics.com www.superyachtlogistics.com

